

**令和5年度
埼玉県川越比企地域医療構想調整会議
第2回川越地区部会
議事録**

11月17日（金）13:30～14:20
川越市保健所 2階大会議室

開会、会議の成立及び委員の出席状況の確認（埼玉県川越比企地域医療構想調整会議地区部会要綱第5条により事務局の長が委員を7名選任し、6名が出席、よって地区部会は成立、また、同第7条第4項により、委員のほか6名出席）、川越市保健所長からの挨拶の後、齊藤地区部会長が議長として議事を進めた。

3 議 事

埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画について

(1) 病院整備計画の公募について

（議長） よろしくお願ひします。それでは早速始めたいと思いますが、一昨日ですね、埼玉県の調整会議がございました。その場面では、このまま何て言うんでしょうかね、2025年に向けたその調整だけではなくて、その後のことも今後考えていく必要があるんじゃないかというような意見や、それから私も発言させていただいて、ベット数をどうするかっていう議論に終始するのは、やっぱりどうかと、地域医療構想というのは急性期から始まって慢性期在宅に向けて、その在宅の方、データ等もしっかり取りながらやっていかないと、その患者さんにとっては不利益ではないかという感じをさしていただき、先々はやはり、訪問診療やそれから介護サービスとの連携等に話が進んでいかないとですね、今後見えてこないかなということなんです。

そんな中で今日の会は、先ほど丸山保健所長からもお話がありましたが、川越比企の地域医療構想というのは、かなり広範囲ですので、川越と比企が同じ医療圏とはとても思えないところもあってですね、また坂戸鶴ヶ島もごぞいますし、

各県圏域の中の川越地区、坂戸鶴ヶ島地区、そして、比企地区とその地区ごとのですね、やっぱ話し合いを持ってそれをまとめて、集約して議論するべきではないかということから、これは埼玉県の中の地域医療構想調整会議、圏域ごとにやってる中で、川越比企だけですね、このように分けて話し合いをしているところです。そういう趣旨で、できれば忌憚のない意見をですね、触れ合われる場所にしたいなと思ったんですが、県の組織がそうもいかないようできっちりしないといけないのですが、できるだけですね、このようなどころでお話ができるのが、いいかなというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

※ 議事に先立ち、会議公開が認められた（傍聴者はなし。）。

(議長) それでは、ここから議事に入りたいと思います。本日はまず、「埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画について」を中心に議論を、先ほどお話があったように、二つの医療機関から応募がございましたので、そちらの意思あるいは考え方をですね、計画を御説明いただいて御意見があれば、地域連携が一番大事なので、地域連携に対してどういうお考えなのかっていうところをですね、やっぱり中心に皆さんお聞きしたいと思いますので、そのあたりを中心に御説明もいただければというふうに思います。個々の医療機関の特徴は結構なんですけどやっぱり大事なのは地域連携というふうに、今回特にですねそう思いますので、ぜひそのような御説明をいただければというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

それでは、ここで事務局からですか、説明をお願いします。

- 県医療整備課小峰主幹が配布資料（資料 1-1～1-4 及び参考資料 1-1、資料 2-1～2-2）の概略を説明した。

(議長) はい、どうもありがとうございました。今の説明、県の方の説明について、何か御質問とかございますか。

(質問等なし)

(議長) よろしいでしょうか。はい、それでは、そのような趣旨で進めて参りますのでよろしくお願いいたします。

3 議 事

埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画について

(2) 各応募者からの説明及び質疑応答

① 医療法人社団富家会（（仮）富家療養病院）

(議長) では、議事(2)になりますが、各応募者からの説明及び質疑応答に入ります。本日は御出席の皆さん、十分な意見交換をしていただくことを目的としていることから、応募者からの説明時間についても、特に制限は設けずに、御説明をいただきます。まずは医療法人社団富家会から、病院施設整備計画の概要を説明してください。よろしくお願いいたします。

◆ 医療法人社団富家会の富家理事長が資料2-4 F1～F8に基づき説明をした。

(議長) はい、ありがとうございました。医療法人社団富家会から富家先生からの御説明がありましたが、委員の皆様方から何か御意見や御質問はございませんか、いかがでしょうか、以上ですか。外国人の雇用だけで何とかなるんですか。

(医療法人社団富家会福田事務局長) 外国人の雇用だけでは何とかならないので、現在の既存病棟からの異動をも検討していただいているところでございます。

(議長) おそらく川越市内の医療機関にとっては人員確保の問題が一番大きくて、そこが一番センシティブになるところなので、その辺他の医療機関との調整はしっかりやっただけであればと思いますが。はい。他にいかがでしょうか。何かありますか。どうですか、御意見でもいいです。赤心堂病院の市川先生、いかがですか。

(市川委員) 急性期病院の立場で、やっぱり急性期の病院で一旦治療ある程度完結した方っていうのは一番やっぱ困るんですけど。明らかに回復期リハ型の方っていうのはリハビリ移行もスムーズに行くんですけど、なかなかリハビリの回復の見込みのないような高齢者、認知症の方とか、また透析が絡んできたりとかっていうと、結構選択肢の数は狭まってくるのですね。その中で市は違いましたけど、ふじみ野市行政の境からも連携して、患者さんも受けていただいて、今までのそれでもなかなかスムーズにいかないで、急性期病床に長くいることは結構あったので、増床に関しては私たちとしても助かるなと思っております。

あとは、道一本挟んだだけ条件が変わって、検討する場所が変わるっていうのも、今までの話の中にもありましたけど行政なのいろんな条件があるのかなという。

(議長) 確かに県の会議でも、この医療圏の問題っていうのはやっぱりよく出てきて、本当に今までの医療圏でいいのかということは話が出てますが、今回本当に道一本隔ててお話があったら見に行きましたら、本当に一本なので驚きましたが、あそこだけ出っ張ってんだよだってね、何かそこがちょっと驚きましたが、でも了解しました。

藤田先生何かありますか、特にないですか。清水先生いかがですか。

(清水委員) 透析を含めた慢性期っていうのは、見ていただけるといことの意味があると思いますし、ふじみ野市を入れても別段病床的には問題ないと思います。

(議長) ありがとうございます。どうですか。行政といらっしゃったときじゃないですか。特にないですか。ない、はい。そうしたら私の立場からもう一つだけ、川越の医師会に入会はされる予定ですか。

(富家理事長) 入会させていただければと思っております。

(議長) よろしく願いいたします。多少いろいろ地域貢献の業務がいろいろ入ってきますが、そちらの方はいかがでしょうか。

(富家理事長) そこをお手伝いさせていただければと思っております。何なりとお申し付けいただければと思います。

(議長) 何なりといいんですね。だからといってそんなあれなんです、今大事なものは、医療療養病診連携だけじゃなくてやっぱり介護の方との連携も大事なところで、先生のお仕事してるところは随分介護も関係してくるところがあって、ぜひその能力を、生かして、川越のために生かしていただければと思います。

(富家理事長) はい。ぜひさせていただきます。よろしく願います。

(議長) 他に何かご質問とか今日ここで決定するわけではないので、意見をまとめていくということですが、よろしいでしょうか。どうぞ。はい。

(小峰主幹) すいません、ありがとうございました。今回の計画の場所が市街化調整区域だと思うんですね。はい。この調整区域につきまして川越市さんの開発部局さんとはもうすでに何か調整済みでしょうか。

(福田事務局長) はい。川越市の開発指導課さんの方にまず相談に行きまして、川越市では調整区域では病院は立ちません、それは基本です。ただ、都市計画法30条14項に則りまして、相談を受け付けるケースがありますということで、門前払いではございませんでした。現在、相談をかけさせていただいておりますので、川越市の監視指導課の方は、当協議機関がございまして、ちょっと報告はしますけども、2ヶ月、3ヶ月で協議会は終わりませんので、終わり次第、また御報告しますというふうに。はい。

(川越市保健医療部野口副部長) 川越市の保健医療推進課でございます。私どもちょっと医療部門の方で開発の方とはですね、特にそちらの方に意見を言うもの

ではないんですけれども、一応ちょっと同じ川越市としてですね、開発の方から今回調整区域になりますとやっぱり開発許可の手続きが必要になるということで、そちらの方開発指導課の方と、しっかりと相談をしていただきたいというちょっとお話をちょっといただいておりますので、付け加えさせていただきます。

なお開発審査会の方に付議する条件としてですね、やはり何でこの病院がこの地域に必要なのかというちょっとお話がありますので、そういったところをですね今回のこの病院整備計画の方が認められたってということがあればですね。一応付議するですね、一つの要件にはなるだろうというような話もありますので、開発許可の手続きの方もですね、並行しながらですね、御検討ですね、ちょっと進めていただくようお願いできればと思っております。

(議長) はい。どうもありがとうございます。その辺を見てないんですね。了解です。よろしいでしょうか。それでは、富家会さん御説明どうもありがとうございました。

(富家理事長) ありがとうございました。

3 議 事

埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画について

(2) 各応募者からの説明及び質疑応答

② 医療法人しらさき（仮）しらさき川越病院

(議長) では続きまして医療法人のしらさきさんから病院整備計画の概要を説明していただいて、いただけますか。お願いします。

- ◆ しらさき川越クリニックの白崎院長が資料2-4 S1～S10に基づき説明をした。

(議長) はい、どうもありがとうございました。白崎さんからの21床の地域包括ケア病棟の増床についての御説明がありましたが、皆様方、御質問等いかがでした

ようか。また市川先生どうですか。

(市川委員) 今は急性期病床で、今後回復期で、川越比企の医療調整会議の方でも、いろいろ病診病連携とか、医療従事者の件とかあったと思うのですが、そういったところでちょっと準備が不足してるんじゃないかなっていう流れがあったと思うのですが。今回地域包括ということなので、川越地区においてのいわゆる回復期の不足を補うというところで。急性期は医療センターが大量に病床を抱えていますので、実際は足りていないような数字が出ていますが、実態として足りていないという印象はあまりないので。急性期ではないところでの申請に関しては、問題はないのかなと思っております。

ちょっと細かいところまでは、資料の5の(5)以前とかとは状況は変わっていないのですか。

(白崎院長) 来年度入職予定が2人いまして、現在一応それは話がついておりますけれども、入職予定となっております。あとはしらすき久喜のクリニックからも1人移籍予定です。

(市川委員) ありがとうございます。

(議長) はい、ありがとうございます。藤田先生、何かありますか。よろしいですか。はい、清水先生いかがですか。

(清水委員) 会長がおっしゃってる、県が出していただいている数値、区割りとちょっと合っていないところが、決まりがない。それは置いといたとして、今慢性期を採用される、採用される2人の方は慢性期の方ということで。

(議長) 地域包括ですね、回復期になります。地域包括ケアです。

(清水委員) こちらの方を採用されるという。

(白崎院長) はい。

(清水委員) あの急性期にやっぱり若い先生を含めてですね、人気があって、なかなかその回復期、地域包括とか、我々も回復期ですが、医者を集めるのが大変で、その辺のところは努力していただけたらと思います。

(白崎院長) はい。

(議長) はい。池袋病院さんいかがですか。

(医療法人社団誠弘会池袋病院 池袋法人事務本部長) はい（特になし）。ありません。

(議長) そしたら今後は、救急だけではなくて何でしょう、循環器系の救急だけではなくて、地域の先生方からの対応をしていくということですね。雇用については今のお話で、看護師さん達もどうなんですか。

(白崎院長) 川越の方が多いです。人口が多いので。

(議長) そうですか。今やっぱり一番人の問題があったのですが。富家先生のところと同じ質問で、川越医師会に対して、医師会の業務についてはどんなふうに考えでしょうか。

(白崎院長) はい。この前お話いただきましたが、可能な限り何かできないかお伺いしたところですが、地域医療の災害の方を担当させていただいてまして。川越の調査委員にも出席させてもらっていますし、もう一つあとは夜間診療所の業務もさせてもらっています。

(議長) 白崎さんのところの1年、とても医師会活動一生懸命やられてくださっていますので、今後も積極的に協力してくださるっていうことは医師会の中でもお

話が出てますので、その辺は期待をしているところです。

いかがですか。他に何かありますか。どうぞ。

(小峰主幹) すいません医療整備課でございます。先ほど富家病院さんにもお伺いしたので、同じ質問ですね。白崎先生のところの2種市街化調整区域だと思いますので、こちらは20床から病院になるということについて、市の開発部局とは、いかがでしょうか。

(しらさき川越クリニック事務布施氏) 私から回答します。川越の開発指導課さんの方とお話してまして、開発審査会の開催が必要だと、こちらの方で許可がおりた段階で開発審査会開催まで持っていくようにします、という協議をいただいております、お約束いただいております。

(議長) はい了解しました。なかなか調整区域の問題は難しくですね、今回は途中でお辞めになったところも開発できないというところがありましたので、そういう意味では、制度によっていろいろな打ち合わせをしながら、やっていただいた方が良いでしょうか。

はい、よろしいでしょうか。では白崎さんについてはよろしいでしょうか。はい、どうもありがとうございました。どうも御苦労様でした。

3 議 事

埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画について

(3) 地域の医療ニーズの確認

(議長) 次に(3)地域の医療ニーズ確認について、これは事務局の方から説明していただきます。お願いします。

- ・ 坂戸保健所深澤担当課長が配布資料(参考資料2-1~2-5)の概略を説明した。

(議長) はいありがとうございました。委員の皆様、これは川越比企の調整会議

でまた説明があると思いますので、その前に中身を見ておいていただければというふうに思います。続いてその他になりますが、今回の地区部会の結果については、今度の12月1日にですねそれを報告することになります。2箇所の手を挙げていただいたところについて、皆様から御意見をくださって、それを私の方で報告するとなるとと思いますので、よろしく願いいたします。

では事務局から、審査に関する今後の予定の説明をお願いします。

- ・ 坂戸保健所深澤担当課長が配布資料（資料2-3）のスケジュールについて、改めて、12月の川越比企地域医療構想調整会議にて説明する旨、伝達した。

（議長） ありがとうございます。なかなか地域医療構想も難しいところもあってですね、各圏域も本当に違うので状況が、川越比企についても違う、違いというか、数字だけじゃないなっていうようなこともあるところですが、できるだけ何ととっても地域に貢献していただかなければ意味がないので、その辺りをしっかり今後も協議していただければと、いうふうに思いますので、よろしく願いいたします。

あと何かありましたっけ。（事務局からなしとの返答）大丈夫でしたっけ。また12月1日の方でちょっといろいろ話が出てくると思いますので、その時にまた、皆様方、御質問、御意見をお願いいたしたいと思います。

はい。それでは議事はこれで終了ですので事務局に今後の進行をお願いいたします。

- ※ 事務局長である坂戸保健所長から議長及び参加者への進行等についてのお礼を申し上げ、事務局から第3回調整会議の日程（令和5年12月1日（金））を案内した上で、閉会を宣言した。